

教育警察委員会 委員協議会 記録

1 会議の日時	令和 4年11月18日	開会 午後 0時56分 閉会 午後 1時44分
2 会議の場所	厚生環境委員会室	
3 出席者	委員	委員長 恩田佳幸 副委員長 所 竜也 岩井豊太郎 小川恒雄 川上哲也 水野正敏 林 幸広 澄川寿之
	執行部	別紙配席図のとおり
4 事務局職員	主査 鷺見和良	課長補佐兼係長 大野享子

5 会議に付した案件

件名	審査の結果
1 公立中学校における部活動の地域移行について 2 その他	

6 議事録（要点筆記）

○恩田佳幸委員長

ただいまから、教育警察委員会委員協議会を開会する。

本日の協議会は、委員会の所管事項の調査や施策の評価の充実を図るために開催したものである。

議題は、お手元に配付した「次第」のとおりである。

説明員については、今回の議題に関わる教育委員会関係課から出席いただいているので、あらかじめご了承ください。

それでは、執行部から説明をお願いします。

はじめに、「公立中学校における部活動の地域移行について」を議題とし、執行部の説明を求める。

（執行部 堀教育長 挨拶）

（執行部 浦野体育健康課長 説明）

○恩田佳幸委員長

ただいまの説明に対し、質疑はないか。なお、質疑は一問一答をお願いします。

○小川恒雄委員

部活動の地域移行には、文化部も含まれるのか。どのような団体に移行されるのか。

○浦野体育健康課長

文化部も含まれる。運動部、文化部で地域移行に向けて取り組んでおり、国においても運動部はスポーツ庁、文化部は文化庁が進めている。

文化部については、文化庁が今年度、文化芸術団体にモデル事業を委託している。県教育委員会としては国の動向を見ながら、今後、文化部の地域移行先の団体についても検討を進めていく。

○小川恒雄委員

子供が参加する地域における伝統文化の活動等は今回の地域移行に含まれるのか。

○中村体育健康課教育主幹

含まれない。中学校にある既存の部活動を地域に移行するもので、部活動を地域に受け入れてもらうよう考えており、新たな団体を地域クラブとして起こすという趣旨ではない。

○小川恒雄委員

既存の地域の団体を何らかの形で援助するのも政策の一環であり、子供が参加する地域の団体の活動や行事も今回の動きに含めるべきではないか。

○堀教育長

現時点では検討されていないことをご理解いただきたい。ご意見については、県教育委員会に限らず、スポーツ関係部局、文化部局や市町村の担当部局とも連携しながら検討を進めていく。

○小川恒雄委員

既に地域で活動している地元の野球クラブなどの活動は対象とならないのか。

○堀教育長

地域移行は、現存する部活動の取組を移行するものであると理解いただきたい。

○岩井豊太郎委員

書道や華道などの伝統文化を教育や部活動にどう取り入れていくのか。

○香田義務教育総括監

文化の継承に寄与するため、現在もふるさと教育や総合的な学習の時間などで実施している。今後どのように学校教育の中で取り入れられるか検討していきたい。

○岩井豊太郎委員

各競技団体に対して指導等の協力を得る必要があると思うが、どのように進めるのか。

○中村体育健康課教育主幹

各競技団体には県スポーツ協会を通じて国や県の動きを説明しながら進めている。中には、市町村をまたぎ、広域で活動する部活動もあるため、現状を伝えながら各団体の協力を依頼する。

○岩井豊太郎委員

各競技団体の意向を聞きながら進めてほしい。

○川上哲也委員

平日の部活動と土日の地域クラブは一貫したのではなく、別の活動として取り扱うのか。

○浦野体育健康課長

土日は地域クラブ、平日は部活動という考え方である。現在事例研究中の北方町では、平日は部活動、休日は中学生以外にも小学生を含めた地域クラブ活動としている。事例を検討会や市町村対象の推進会議で紹介し、市町村がクラブ活動の取組方法（移行先など）を選択できることを説明している。

○澄川寿之委員

現在の部活動が週末も継続して実施できるよう新たに地域クラブを設置するというのか。

○浦野体育健康課長

そのとおり。

○林幸広委員

将来、高等学校の部活動も地域移行するのか。

○浦野体育健康課長

国では、高校についても将来的には中学校に準じて部活動を地域移行するのが望ましいという考え方である。現時点では、県として高校までは検討していない。

○林幸広委員

部活動の地域移行は、指導する教職員の負担増が根底にあると考えるがいかがか。

○浦野体育健康課長

働き方改革の側面もあるが、少子化の側面も大きい。部員の不足により大会参加が難しい事例が多数あり、今年度は県内97チームが合同チームとして中体連の大会に参加した。

今後も1校単独で大会の参加が難しくなる部活動が増えると想定されるため、地域移行により生徒が大会等に参加できる環境づくりに努める。

○林幸広委員

教職員の中には土日の地域クラブにも参加を希望する場合があると思うがどうか。

○中村体育健康課教育主幹

土日にも参加を希望する教員については、兼職兼業の制度を活用しながら指導にあたることもできる。

○林幸広委員

働き方改革の中で地域移行は必要だが、地域の協力がないと難しいため移行期間の中で地域にしっかりと説明してほしい。

○澄川寿之委員

指導する際、ライセンスの取得は必要か。

○浦野体育健康課長

県の設定しているライセンスは技術的指導のほか、教育的指導の側面も含まれているため、現段階は必須ではないが、来年度以降は取得を必須とすることを検討したい。

○澄川寿之委員

指導者への謝金等、会計管理は誰が行うのか。

○浦野体育健康課長

運営主体によって様々であるが、総合型地域スポーツクラブが運営主体となる場合は事務局を設置してクラブと事務局が連携しながら管理する。

○澄川寿之委員

金銭面の管理は大切であるため、しっかり検討してほしい。

○水野正敏委員

中学校の文化部には例えば何かがあるか。

○浦野体育健康課長

吹奏楽部、演劇部、書道、写真部等がある。

○恩田佳幸委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって「公立中学校における部活動の地域移行について」の質疑を終了する。

以上で本日の議題は終了したが、この際、何か意見等はないか。

また、執行部から何かないか。

意見もないようなので、これをもって本日の委員協議会を終了する。

